

# ビジネスデザイン実践

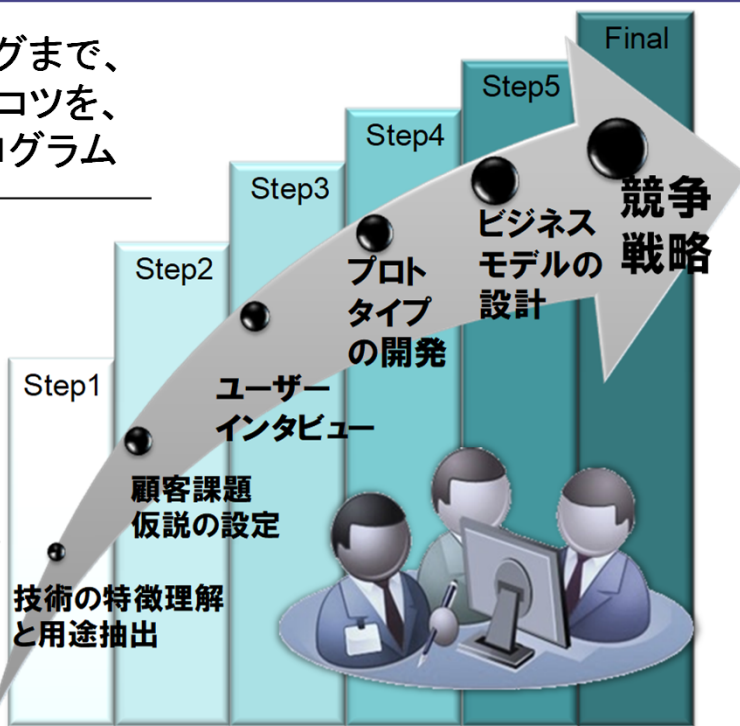
大学院高度副プログラム「科学技術をイノベーションにつなぐために」

技術構成の解析から事業のストーリーテリングまで、テック・ベンチャーの事業開発プロセスとそのコツを、社会人と学生の混成チームで身につけるプログラム

□「ビジネスデザイン実践」は、新規事業開発やスタートアップに携わる際に必要な実践的スキルを身に付けるプログラムです。大阪大学がグロービス経営大学院と協力して2017年度に開発したユニークなプログラムです。

□米国で起業家を大量に輩出する教育法「リーンスタートアップ」をモデルに、ビジネスエンジニアリング専攻で10年の実績を持つ大阪大学と、国内最大のビジネススクール、グロービス経営大学院がそれぞれの教育ノウハウを提供。大阪大学で現在開発中の科学技術を理解・分析してその有望用途を抽出し、新規事業を立ち上げるコースです。

□講師は新規事業開発に携わった経験の豊富なグロービスの実務家教員や、大阪大学で産学共創に携わってきた教員が担当。大阪大学の学生とグロービスの社会人学生の混成による、多様性に富んだチームでの学習の機会を提供します。



## プログラムの開催日程と概要

日程	テーマ	内容
第1回 10月11日(金) 18:30~21:40	チームテーマの確認 技術の特徴理解と有望用途抽出	技術シーズの特徴を理解・分析してその有望用途を抽出し、適合する市場ニーズを探索する手法を学びます。
第2回 10月25日(金) 18:30~21:40	顧客課題仮説の設定 顧客の探索・検証	科学技術の有望用途抽出の結果を踏まえ、想定顧客とその課題についての仮説を立て、グループごとにその検証(インタビュー)を行います。
第3回 11月8日(金) 18:30~21:40	顧客課題の検証 プロトタイプ的设计	ユーザーへの聴き取り結果をもとに、起点技術やアイデアを活用したソリューションを模索し、実際の試作品(プロトタイプ)に落とし込みます。
第4回 11月22日(金) 18:30~21:40	プロトタイプの検証 ビジネスモデル的设计	ユーザーの課題解決(提供価値)を収益性のある事業へと展開するビジネスモデル的设计手法を学び、新規事業の立ち上げに不可欠な体制の策定について学びます。
第5回 12月6日(金) 18:30~21:40	プロトタイプの改善 ビジネスモデルの検証	一度作ったプロトタイプを時には壊し、改善します。ビジネスモデルについても検証します。
第6回 12月20日(金) 18:30~21:40	事業計画のプレゼン発表	先輩起業家や投資家を審査員に迎え、プロトタイプや提供価値、事業計画を発表します。その先の事業化への道筋を考えます、

※8-9月ごろにテーマ紹介とチームビルディングを実施します。



## 上西 啓介 | Keisuke Uenishi

大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻 教授、京都大学工学部金属加工学科卒、京都大学工学研究科(博士)  
 大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻の教員として、おもにエレクトロニクス製品・デバイスにおける実装技術などの異種材料  
 接合技術や材料開発について研究を行う。その後、同研究科ビジネスエンジニアリング専攻にて、製造業のサービス化やプラットフォームビジ  
 ネスなどについて研究を行っている。また同専攻で展開している実践型教育、On The Job Education演習の科目である、テクノロジーデザイン  
 論、知的財産権、国際ビジネスと標準化などを担当し、大学院生に技術を事業につなげるための意識と方法論を、対話を通じて学ばせている。



## 加藤 浩介 | Kosuke Kato

大阪大学 共創機構産学共創本部 イノベーション共創部門 産学共創企画室長(兼) 大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻 講師  
 2003~2006年 日本学術振興会の特別研究員(DC1)として、ヒトの知覚情報処理・感覚運動制御モデルに関する研究開発に従事。2006年に大  
 阪大学先端科学イノベーションセンター助手に着任して以来、各種の産学連携・事業化支援を担当する。2011年にはBoston University Office  
 of Technology DevelopmentのFellowとして、科学技術を事業化する実務に従事し、その方法論を学ぶ。帰国後は、産学連携本部 総合企画推  
 進部 Business Developmentチームリーダーとして、主に研究成果を実用化するための仕組みづくりとプロジェクト支援を担当し、科学技術を実  
 用化・ベンチャー起業・投資獲得に導く。国内外の技術移転協議会において国際及び人材育成関連の委員を歴任。2013年11月~技術移転プ  
 ロフェSSIONALの国際認定(RTTP)を受けている。2017年4月~現職。神戸大学工学部卒、熊本大学自然科学研究科修了。博士(学術)。



## 川上 慎市郎 | Shinichiro Kawakami

グロービス経営大学院 准教授(マーケティング/創造領域)  
 早稲田大学政治経済学部卒、IESEビジネススクール(スペイン)IFDP修了。日経BP「日経ビジネス」誌記者として流通・自動車・家電・IT業界等  
 の企業取材、(社)日本経済研究センター研究員等を経て、複数のビジネスメディアのネットマーケティング戦略の企画立案やシステム設計・コン  
 テンツ開発等に従事。その後グロービスに入社し、2009年より現職。同領域のプログラムやケースの開発、経営大学院の講師を務めるほか、  
 流通・メディア・ITなどの分野の企業において新規事業開発のコンサルティング、複数のネットベンチャーのアドバイザーなども手がける。共著  
 書に『プラットフォーム・ブランディング』(SBクリエイティブ)、『MBAマーケティング 改訂3版』(ダイヤモンド社)、『メディア・イノベーションの衝  
 撃』(日本評論社)、『WEB2.0キーワードブック』(翔泳社)など。



## 難波 美帆 | Miho Namba

グロービス経営大学院 特任准教授(思考/創造領域)  
 東京大学農学部農業生物学科卒。北海道大学大学院修士課程(理学)修了。講談社に入社し、文芸局で編集に携わった後、フリーランスのサイ  
 エンスライターとなる。2005年から北海道大学特任准教授として科学技術コミュニケーター養成ユニット(CoSTEP)の立ち上げに携わる。  
 2010年4月から早稲田大学大学院政治学研究所ジャーナリズムコース准教授としてサイエンスメディアセンターの立ち上げ、2013年から北海  
 道大学特任准教授としてURAステーション、新渡戸スクールの立ち上げ、サービスデザイン科目の開発に携わる。2016年4月から現職。専門  
 家と非専門家の間での科学技術コミュニケーションのデザイン、デザイン思考を用いた課題解決ワークショップの実施など、数多くのプロジェク  
 トに携わっている。編集者として作った書籍は100冊以上。

## 演習の題材となる大阪大学の科学技術

大阪大学では、数多くの先進的な科学技術の研究開発と共に、それらの科学技術をベンチャー起業  
 等により事業化する活動を行っています。本プログラムでは、大阪大学で現在開発中の科学技術の  
 いくつかを演習の題材として、その事業化プランニングに挑戦していただけます。これまでに、土砂崩壊  
 予測技術、信号制御技術などの科学技術が演習の題材となりました。本年度は、学生自主研究プロ  
 ジェクトを含むいくつかのプロジェクトを演習の題材とする予定です。



## 詳細・お申込み方法

対象者	大阪大学、もしくはグロービス経営大学院に在学し、技術シーズベースの新規事業開発の方法論の習得とその実践 に興味を持っている方。(それぞれの大学ごとに定員12名)
受講審査・資格	応募者多数の場合には、試験・面接を行う場合があります。 なお、受講希望される方には、後日案内する「守秘および権利帰属に関するインフォームドコンセント」の内容を確認 のうえ、書式に署名し、講義初日に提出していただきます。
付与単位	履修して合格した場合、大阪大学高度副プログラム「科学技術をイノベーションにつなぐために」の構成科目である 「ビジネスデザイン実践」の単位(2単位)が付与されます。
開講期/開講時間	秋季学期~冬季休暇に実施予定
開講場所	JR大阪駅より徒歩3分 「大阪大学オープンイノベーションオフィス」 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館(ナレッジキャピタル)タワーC
事前準備・予習など	大阪大学の学生は、開講前に、ビジネススキルの基礎が学べるグロービス経営大学院のオンライン動画学習サービ ス「グロービス学び放題」の履修を推奨します。受講費支援制度がありますので、詳しくは担当教員にお問い合わせ ください。
お申込み先	① 「プログラムの申請」手続きを実施してください。 ② KOANを通じて、履修期間内に「プログラム授業科目の履修登録」手続きを実施してください。  不明な点があれば、下記の工学研究科オープンイノベーション教育研究センターの下記HPを参照するか、 担当教員にメールで問い合わせてください。(r.nakamura@uic.osaka-u.ac.jp/中村亮介) <a href="http://www.coire.eng.osaka-u.ac.jp/section/section02.html">http://www.coire.eng.osaka-u.ac.jp/section/section02.html</a>